

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

6

男子 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
浦添高等学校	29	[21	神戸星城高等学校
		18	9	
		11	12	
		—		
		—		
		—		
		7mTC		

九州ブロックから2年連続10回目の出場となる県立浦添高校（沖縄）と近畿ブロックから3年

連続7回目の出場となる神戸星城高校（兵庫）の対戦。神戸星城のスローオフから試合は始まった。

先制点は浦添神戸星城2番（東）のペナルティスロー。浦添も5番（東江）がすかさず速攻を決め。

る。小柄ながらスピードで攻める浦添に対して星城は両45の長身プレーヤー3番（辻野）と8番（口

田）や2番（東）を軸に反撃したいがなかなか得点のきっかけをつかめない。浦添のスピードある攻

めと固い守りに星城が押されるまま試合は進行し、20分を過ぎて14対6で浦添が8点リード。8点差

のまま一進一退の攻防が続くが、終了間際に浦添が得点し、前半は18対9浦添9点リードで終了。

後半開始。星城3番（辻野）のロングが決まる。10番（松本）を起点としたスピードある攻撃も決

まり始める。しかし7番（上田）が退場しピンチになるがなんとか失点ゼロでしのぐ。星城のプレー

に硬さがとれ徐々に点差を詰め17分を過ぎて15対21。その後は一進一退の攻防が続く。最終的に常

に冷静さを失わない浦添が前半のリードを守り切り、29対21の8点差で神戸星城に勝利した。

2017年 3月 25日

記載者氏名 正田 慎

男子 ・ 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 加古川市立総合体育館

コート

府立洛北
高等学校

18	[8	-	8]	17
		10	-	9		
		-		-		
		-		-		
		-		-		
		7mTC				

県立富岡東
高等学校

今ひとつ調子でない富岡東の立ち上がりをついた洛北が6番藤原のロングシュート、

11番の瀧石の速攻で連続得点を得るが、ポストへの厚いディフェンスからペースを掴んだ

富岡東高校が11番安田、7番寺島の速攻など四連続で得点を重ねゲームをリードする。

14番納塚のシュートが決まりだしリズムに乗りたい洛北だが退場者が続き苦しい展開を迎え

る。一気に差を広げたい富岡東だが攻撃を攻めきることができず逆に得点を許す形になって

になってしまう。その後、両チームとも譲らず交互に得点を重ね、前半は8対8で折り返すこと

となった。

後半、洛北の得点からゲームが動き出す。富岡東も負けずに応戦するが、洛北の納塚、藤原

の3連取、ゴールキーパー山本の好セーブで一時3点の得点が開く。富岡東も7mTや速攻のチャ

ンスをものにし29分同点打を叩き込む。最後は試合終了のブザーと同時にゴールに叩き込んだ

洛北 納塚のロングシュートが決まり一点差の戦いを洛北が制した。

29年 3月 25日

記載者氏名 大西 里絵

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男3

男子・女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

学法石川高校	24	14	—	10	23	瓊浦高校
		10	—	13		
			7mTC			

今大会、初戦の学法石川と、接戦の一回戦を勝ち切った瓊浦との2回戦。学法石川のスローオフから試合が始まる。開始早々、11番戸塚の先制点で先取。その後、一進一退の攻防でお互い点が伸びず開始7分まで2対2の均衡状態が続く。学法石川の6番大内のロングシュート、瓊浦の5番尾崎のカットインなどでお互い点を重ねていく。12分30秒に学法石川11番戸塚が退場となったが、瓊浦の堅い守りで点を決められず。開始15分、お互い譲らず6対6のまま試合は続く。その後、学法石川は11番戸塚の連続得点などで勢いに乗るが、瓊浦のキーパー12番戸村のファインセーブもあり、なかなか点差を伸ばすことができない。前半を14対10、学法石川のリードで折り返す。後半早々、瓊浦が連続3点を奪い、1点差まで詰め寄る。しかし学法石川キーパー半谷の堅い守りでなかなか瓊浦の逆転を許さない。お互い全く譲らず後半16分で19対19の同点。17分30秒に瓊浦の5番尾崎の得点でついに逆転を許すが、すぐに学法石川が追いつく。学法石川の我慢強い守りで、瓊浦の追い上げを絶ち、結局24対23で学法石川が3回戦にコマを進める。

29年 3月 25日

記載者氏名 里中 昭彦

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦評用紙

男8

男子・女子 2回戦・準々決勝・準決勝・決勝

会場 神戸市立中央体育館

チーム名

総得点

氷見

35

15	—	15
15	—	15
1	—	3
4	—	1
	—	
7mTC		

総得点

チーム名

大体大浪商

34

1回戦を40得点で勢いよく勝ち上がってきた氷見を迎え撃つのは、昨年春夏3位の実力校大体大浪商。氷見はスロ
 ーオフ直後、14番平井のミドルで鮮やかに先制。浪商もすぐさま、跳ね返りのルーズボールを拾った14番篤谷の強
 烈なシュートで応戦。その後氷見が13番安平の連続得点などで加点していくも不正入場による退場者を出してしまう
 。その隙に浪商はGK飯田の得点、14番篤谷の連続得点で逆転に成功。さらに氷見は15分11秒、9番キャプテン
 が一発レッドカードの失格となり苦しい時間が続くが、13番安平の4連打などで食らいつき、24分には再び逆転。
 浪商もひるむことなく前半終盤、10番堀江、18番加藤の得点で流れを相手に渡さず、激しい展開となった前半は互
 いに譲らず同点で折り返す。後半序盤も両者一進一退の点の取り合いになり、均衡した展開。氷見は幾度となくシュー
 トチャンスを作るも、浪商GK飯田が気迫の顔面セーブなどで立ちふさがる。9番矢野の連続得点で辛くも浪商が1
 点をリードする展開も、29分35秒、氷見7番窪田の技ありのゴールで同点に追いつき試合は延長戦へ。延長戦も
 激しい展開が続くが後半ラスト2分、氷見13番安平のこの日14得点目のシュートでリードを奪い、そのまま逃げ
 切り。死闘に終止符を打った。実力校同士の力と力がぶつかり合った好ゲームであった。

29年 3月 25日

記載者氏名 山本 紘輝

戦 評 用 紙

14

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 高砂市体育館 コート

チーム名	総得点	6	—	22	総得点	チーム名
県立富岡	20	14	—	22	44	北陸
		—		—		
		—		—		
		—		—		
		7mTC				

立ち上がり北陸は中村の3連続得点などで5対1と優位に試合を運ぶ。北陸は、ディフェンス

ラインを上げて高い位置からプレッシャーをかけ、県立富岡は中央を突破することができない。

県立富岡は大塚のサイドシュートで得点を上げるも、11分には2分間退場者が出て苦しい展開

となる。北陸は中村とポストの落田を軸に着実に得点を重ね16分には11対3とする。県立

富岡は、17分頃にGK石井が連続して好セーブを見せて食い下がるが、北陸のディフェンスを

崩すことができず、前半は22対6の北陸リードで終了した。

後半も北陸ペースで試合が進み、後半5分には28対7と20点差以上の差をつける。しかし、

ここから県立富岡が追い上げを見せ、須藤の連続得点を含む4連続得点で11分には29対12

となる。それに対して、北陸はやはり中村と落田を攻撃の核として、じわじわと再び点差を広げ、

20分には37対17と再び20点差をつけた。21分には県立富岡に2分間退場の累積によ

る失格者が出るなど、北陸が終始優位に試合を運び、結果は44対20で北陸が勝利した。

29年 3月 25日

記載者氏名 三谷 修